

## 江田島市自動運転実証調査事業について

### 1 事業実施の目的

自動運転技術による本市のバス路線の運行について実証実験を行い、レベル4運行に向けた課題・論点を抽出します。

### 2 事業実施主体

江田島市・江田島バスで構成するコンソーシアム

### 3 参画企業・協力団体

- (1) 日本モビリティ（株）：レベル4運行に向けた自動運転技術の提供
- (2) (株) 荒谷建設コンサルタント：導入効果の検証、リスクアセスメント
- (3) 富士通 Japan（株）：運行実績の分析
- (4) 広島県地域政策局交通対策担当：実装を見据えた運行に係る知見獲得
- (5) あいおいニッセイ同和損害保険（株）：自動運転におけるリスクアセスメントに係る知見獲得

### 4 事業費

9,995,050円（全額国費）

令和4年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（実証運転実証調査事業）

### 5 実証運行の内容

- (1) 今回の内容は実証運行レベル2となります。

#### 自動運転レベル

- 1：運転支援（自動ブレーキ等）
- 2：特定条件下での自動運転（ドライバーによる監視）
- 3：条件付自動運転（システムによる監視）
- 4：特定条件下での完全自動運転
- 5：完全自動運転

- (2) 実施期間

調整期間：令和6年1月5日（金）～19日（金）のうち10日程度

本番期間：令和6年1月20日（土）、21日（日）

9:00～16:00（12:00～13:00を除く）、12便/日

- (3) 実施場所：ゆめタウン江田島～大盤公園（往復3.2km）

- (4) 実施方法：WEB等により乗車希望者を募集（乗車は無料）

当日は、江田島バス営業所にブースを設置し、自動運転のPRやアンケート調査を実施



図 実施ルート

**実験車両（車両番号）：自動運転車両 1台**

トヨタ ステーションワゴン ATH20-8044756

所有者：日本モビリティ 使用者：日本モビリティ



- ・乗車定員：7人
- ・寸法：521 cm (L) × 207 cm (W) × 228 cm (H)
- ・車両重量：2,250 kg      ・車両総重量：2,635kg

備考：乗車定員及び車両総重量の括弧外は立席を含めたすべての乗車装置を最大に利用した状態を、括弧内は立席を除く乗車装置を最大に利用した状態を示す。